

河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

1 今年度取り組む主要項目

(1) 河川工作物の第2次検討について

改良すればサケ科魚類の生息環境等の改善が図られる可能性があるものの、改良に伴う防災機能等への全体的な影響が大きいため、「現状維持」と評価した河川工作物（第2次検討ダム）について、サケ科魚類の遡上に加え、産卵環境の改善にも焦点を当てたダム改良を進めるため、該当となる35基についてレビューを開始する。

また、先行的河川として、このうちオッカバケ川2基（林野庁）とモセカルベツ川1基（北海道）について、具体的に検討を進める。

(2) 第36回世界遺産委員会決議に係る今後の対応について

当該決議を踏まえ、要請事項等に係る具体的な検討を開始し、関係機関や科学委員会とも連携の上、提出期限までの報告を行っていく。

(3) モニタリング調査の実施について

①サケ科魚類の移動と産卵状況のモニタリングを、イワウベツ川（赤イ川、ピリカベツ川）、ルシャ川、サシルイ川、チエンベツ川、羅臼川で調査を予定。

②37河川でデータロガーを使った水温計測を行うとともに、このうちの8河川においてオショロコマ等淡水魚の生息状況を調査する予定。

2 河川工作物アドバイザー会議の開催状況と今後の予定

(1) 検討会の開催 5月28日（札幌市）

- ①ルシャ川ダムの今後の取扱いについて
- ②世界遺産委員会決議に係る今後の対応について

(2) 第1回 2014年9月9日～10日（予定）（羅臼町、斜里町で開催）

- ①第2次検討ダムの現地検討
- ②ルシャ川ダムの対応方針案の決定
- ③世界遺産委員会決議に係る報告書原案の説明

(3) 第2回 2015年1月頃（予定）（札幌市で開催）

- ①第2次検討ダムの検討
- ②世界遺産委員会決議に係る報告書案の報告
- ③長期モニタリング項目の評価